

まはは

「しかし、私は生きている」

「あなたの言葉のとおり、私は赦そう。しかし、私は生きている。主の栄光は全地に満ちている。」
(民数記 第14章21節・旧約聖書221頁)

はじめに

元旦礼拝、そして初週礼拝と、今年の教会の標語として掲げた聖句を取り上げました。神は私たちに救いを証しせよ、神の栄光を表せと使命を与えておられますが、私たちはそれに答えられず、自分に失望し、また神に見捨てられているのではないかと思ひ、挫けそうになっています。しかし、そんな私たちに「私はあなたを愛している」「私はあなたを私の手に刻みつけるように覚えている」と言われ、「私は生きているのだぞ」と励ましてくださっています。この言葉を胸に刻み、この一年を過ごしていきたいと思うのです。今日はさらに違う角度から、その励ましの言葉を見ていきたいと思ひます。

偵察

何度も語らせていただきましたが、荒れ野の旅の最中、民たちはどれだけ神に逆らい、反抗し、それを言葉に、そして行動に表してきたでしょうか。読む側にしたら、なんととんでもない民たちだろうと思うのですが、しばらくすると、その姿はまさに私たちであるのだと気付くのです。この章では、民たちが荒れ野を40年も旅しなければならなくなった原因である、カデシュでの出来事が記されています。

エジプトを出てから1年半ほど経ったころ、約束の地の南端に位置するカデシュ・バルネアに着きます。そこで各部族から一人ずつ代表が出て、偵察に派遣されました。ところが戻ってきた10人が「素晴らしい土地であったが、強い民がいて入ることは無理だ」と報告し、民た

ちは絶望のあまり夜中、泣き悲しむのです。しかし、同じく偵察をしたヨシュアとカレブは「主が共にいるから、進んでいけば与えられる」と主張したのです。

民の反応

最大の問題は10人の報告にありました。見ただ目で判断したのです。「ネフィリムを見た」と言っていますが、見たこともない伝説の巨人を持ち出すほどに心が萎縮したのです。最初から乗り気でなかった可能性もあります。次にその言葉に影響されてしまったことです。民たちには、自分が約束の地に入るのだという積極的な信仰がなかったのです。つまり、ここまで皆が行くからしかたなく付いてきたという人々だった、だから、すぐにもとの生活に戻ろうとしたのです。与えられた約束は素晴らしいものなのに、それを自分のものにしようとしなければ、何も起こってきません。

私は生きている

モーセは滅ぼそうとされる民たちを必死で執り成しました。そして、聞いた主からの言葉が「私は生きている」です。主の栄光は全地に満ちているとは、どのような困難な問題があっても、そこに神の栄光が表されるという意味です。なぜなら、神は生きておられるからです。私たちはこの「全地」「全問題」をすべ治められておられる生きておられる主を期待していきべきなのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

『もし、あなたがこの民を一人残らず滅ぼされるなら、あなたのことを聞いた諸国民は言うでしょう。主は、与えると誓った地にこの民を連れて行くことができないので、彼らを荒れ野で殺したのだ、と。どうか、わが主の大いなる力を現してください。かつてあなたは告げられました。「主は怒るに遅く、慈しみに富み、過ちと背きを赦す者。しかし、罰せずにおくことは決してなく、父の罪を子に、さらに、三代、四代までも問う者である。」どうか、あなたの大いなる慈しみのゆえに、また、エジプトからここに至る



までこの民を赦してこられたように、この民の罪を赦してください。』主は言われた。『あなたの言葉のとおり、私は赦そう。しかし、私は生きている。主の栄光は全地に満ちている。』(民数記 14:15～21)

私は使命をいただいているのに、あまりにも大きい問題につぶされ、挫折していたことに気がきました。どうぞ私を赦してください。あなたの力は全地に満ちています。あなたは生きておられます。必ず、自分の使命を成し遂げるのだとの思いを強くさせ、神さまの約束を手にすることができますように。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (88) 第4章16～17節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「彼らは悪事を働かずには床に就かず 誰かをよろめかさずには眠らない。悪しき者のパンを食べ 暴虐の酒を飲む。」

◎口語訳 「彼らは悪を行わなければ眠ることができず、人をつまづかせなければ、寝ることができず、不正のパンを食らい、暴虐の酒を飲むからである。」

◎新改訳 「彼らは悪を行わなければ、眠ることができず、人をつまづかせなければ、眠りが得られない。彼らは不義のパンを食べ、暴虐の酒を飲むからだ。」

「悪事を働かずにはいられない」

口語訳と新改訳は、16節と17節を「1節」と見なしています。そのほうがわかりやすいので、ここでもそのように取り扱い、解説します。余談になりますが、聖書の原文には章も節もついていません。付けられたのは、聖書が民衆の手にわたり始めた頃から、すなわち1500年頃からになります。聖書箇所を示すのが必要となったために、便宜上つけたので、聖書本文のように、「靈感によって書かれた」部分ではありません。そのため、これまでずいぶんと変更されてきました。口語訳と新共同訳でも違う箇所がずいぶんあります。

さて、私は毎日のルーティーンがあり、守ら

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

ないと気がすみません。ですから、ここに書かれている「悪事を働かずには床に就けない」という真理はわかります。悪をたまに行うのではなく、常習、ルーティーンになっていて、悪行を悪行とも思っていない状態になっています。悪いことをしなければいられないようにさせるのは、「悪しき者のパンを食べ、暴虐の酒を飲んで」いるからです。つまり、だまし取ったり、相手に不利益をこうむらせる、また暴力などで奪うことで生活の糧を得ているわけですから、やめることができないのです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

歴代誌下第17章6節「ヨシャファトの心は主の道に励み、ユダから高き所とアシエラ像を取り除いた。」◆アサの子ヨシャファトもまた信仰の勇者であった。アサの時代に偶像を置いていた場所、またそれに関わる施設をすべて取り除いていたはずだった。だが、ここでヨシャファトがアシエラ像を除いている。実はこの偶像、アサの母が作っていたのだ。ヨシャファトにしたら祖母である。肉親であるからこそその葛藤があったはずだ。だが、彼は「主の道に心を励まし」、これらをのぞき去った。私たちも主の道に思いをはせ、心励まされて信仰を貫きたい。

●賛美 / 495 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

歴代誌下第18章4節「さらにヨシャファトはイスラエルの王に、『どうかまず主の言葉を伺ってみてください』と言った。」◆ヨシャファトは、なぜか邪悪な王として後世に名を残しているアハブと仲が良かった。アハブの信仰はヨシャファトのそれとは全く真逆。一緒に戦おうとの提案に対し、ヨシャファトはまず主の言葉を聞こうと言って、主の御心を優先に考えた。「しょうがねえなあ」と思ったアハブは預言者四百人を呼んで、戦いに出るべきかを問う。すると、みな「戦いに出よ」と言う。アハブに逆らったら殺されたからだ。主の言葉をないがしろにしてはならない。

●賛美 / 496 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

歴代誌下第19章9節「ヨシャファトは彼らに次のように命じた。『主を畏れ、忠実に、誠実な心で行いなさい。』」◆ヨシャファトはしび人、祭司を中心とした指導者たちを、民たちの間で起こる争議にあてさせた。かつて一人で民たちを裁いていたモーセが義父エトロからのアドバイスを得て、相談窓口を分散させたように、ヨシャファトもしび人たちを使って、民たちに主の御心に従って生きることを徹底させたわけだ。この制度をしくことで、神に仕える姿勢が全国に浸透していった。主の御心を求めていく世の中にしたい。

●賛美 / 497 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

歴代誌下第20章21節「彼は…聖なる輝きを放つ方を賛美する者たちを任命した。彼らが…次のように歌うためであった。『主に感謝せよ、その慈しみはとこしえに。』」◆歴代誌の特徴の一つに、礼拝や賛美をする姿勢の大切さの強調がある。ここでヨシャファトは主の前に祈り、そして、御言葉に従って、聖歌隊を先頭に軍を編成した。賛美をしながら進軍すると、驚いたことに、敵は次々と倒れていった。敵の間で同士討ちも起こり、圧倒的な勝利がもたらされた。私達も、日常生活の苦境にあたって、主を賛美して進むなら勝利を得る。

●賛美／498 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

歴代誌下第21章6節「彼はアハブの家が行ったように、イスラエルの王たちの道を歩んだ。アハブの娘が妻だったからである。」◆ヨシャファトは信仰深いすばらしい王であった。しかし、大きな失敗をした。それはイスラエルの王アハブとの友好関係である。そしてそれは、神を神とも思わない振る舞いをするアハブとそれに輪をかけて悪魔的な行動を取るイゼベルの間に生まれた娘を自分の息子ヨラムの嫁に迎えたことで、平穏なユダ王国が悪夢の時代を迎えることにつながった。私達は、世の中の力に隙を見せてはならない。妥協してはならない。

●賛美／499 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

歴代誌下第22章3節「この母が相談役となって悪を行かせたので、彼もアハブの家の道を歩み、アハブの家と同じように、主の目に悪とされることを行った。」◆ヨシャファトの息子ヨラムが病死し、代わってヨラムの息子アハズヤが王となったが、母であるアハブの娘アタルヤが相談相手だったため、さらにひどい政治を行い、ユダ王国を不信仰の極みに陥らせた。結局アハズヤは殺され、その母であるアタルヤが親族すべてを殺した上で、王を名乗ることになる。私達はだれを相談相手にしているのだろう。私達は神にすべてを語るべきである。

●賛美／500 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

歴代誌下第23章11節「そこで彼らは、王の子を連れ出して冠をかぶらせ、王のしるしを渡した。ヨヤダと息子たちは、彼を王として油を注ぎ、『王様、万歳』と叫んだ。」◆暗黒の時代、神は祭司ヨヤダを用いられた。彼はアタルヤが王子たちを皆殺しにする間隙を突いてヨアシユをかくまった。そして正当な継承者を保護養育し、時を待った。ヨヤダは着々とクーデターの準備を進め、悪魔的なアタルヤに立ち向かう勇気のある者たちを集めていった。そして、7歳となった時、満を持して立ち上がったのだ。神の前の忍耐は希望に、そして勝利につながっていく。

●賛美／501 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【ルカによるふくいんしょ 10:25～37】

「りんじんを あいする」

(ルカ 10:27)

あるとき、たくさんのひとたちを まえに、イエスさまがはなしているとき、リッぼうのせんもんか が たちあがって「どんなことをしたら、えいえんのいのちを えることができるでしょうか」としつもんしました。

せんもんかの じぶんが こたえられないくらい むずかしい もんだいでしたが イエスさまにはじをかかせようと しつもんしたのです。

すると、イエスさまは まようこともなく、そのしつもん に こたえました。

まず リッぼうの せんもんかに「リッぼうには なんと かいてあるか」と ぎゃくに しつもんしました。そのひとは「『こころをつくし、たましいをつくし、ちからをつくし、おもいをつくして、あなたのかみである しゅを あいしなさい』、また、『りんじんを じぶんのように あいしなさい』とあります。」とこたえました。

それをきいた イエスさまは、「そのとおり。ただしい こたえです。でもじっこうしなければ、えいえんのいのちは えられません」と、リッぼうの せんもんかに こたえました。

みんな、そのときに わかっていました。それは、リッぼうのせんもんかは、かみさまのおしえが かかれてある せいしょを よくして、みんなに いろいろおしえるだけでなく、せいしょにかいてあるから、これをしなければならぬ、あれをしなければならぬ、これをしてはだめだ などと みんなの やっていることを こまかく ちゅういしているのに、じぶんが まもっていないのです。「あの せんせいは わたしたちに いろいろいうけれど、じぶんは なにも じっこうしていないではないか」と かげで もんくをいっていたのです。

イエスさまは りんじんをあいするとは どういうことか、わかりやすく おしえるために、「よいサマリアじん の はなしをしました。みんなは、サマリアじん の ように じっこうしようとおもいました。

●かんがえてみよう

☆イエスさまに「どうしたら えいえんのいのちを もらえますか」と きいたのは、だれですか。(ルカ 10:25)

☆イエスさまが そのひとに「リッぼうには なんと かかれていますか」と ぎゃくに しつもんしたとき、そのひとはなんと こたえましたか。(ルカ 10:27)

☆イエスさまは それをきいて、なんと こたえられましたか。(ルカ 10:28)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

自分のように愛する

			る	に	よ	自	分	の
			分	愛	自	す		う
分	に	自					愛	る
の	る	す	愛	う	に			
う		分	よ		の	に		愛
	よ	愛	自		分	の	う	
る		よ	に	自	愛			分
自	分		う	よ		愛	す	に
愛								自

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① わがんいたは
- ② せかういと
- ③ せかんもん
- ④ いほうた

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「強風」

先週末、強風が吹き荒れ、各地に被害をもたらしました。雨が降らない台風のような天候でしたが、近所でも工事現場を囲っていたシートが裂けて旗のようにパタパタと翻っていて歩道を歩くのが困難な箇所がありました。こんな時に火事が起こると大変です。上野原の山で起きた山林火災は消防車が入れないので、ヘリコプターでの消化剤散布しかできません。冬の乾燥時期でもあるので、おさまるところか風の勢いで飛び火して拡大し続け、鎮火まで

困難を極めました。その期間に高速道路を利用する機会があったのですが、自動車を運転していても横風を受けてあおられ、隣の車線にはみ出してしまうほどだったので、横転の可能性が高いトラックの横にはなめべく並ばないように走りました。

こんな時は「風が吹くと桶屋が儲かる」という落語的な想定外の連鎖も生じます。風で埃が舞い、目を患って失明する人が増える。すると、目の不自由な人の職業とされていた三味線弾きが多くなり、需要が高まった三味線製作のために猫の皮も普段以上に必要になる。天敵がいなくなったネズミが増え、桶をやたらとかじるため、修繕依頼が増えて桶屋が儲かる。神さまは風を用いて考えられないような素晴らしいことをしてくださるはずですよ。

聖書ふれあい街歩き

●「冬の宮殿」

連日の寒さは体に応えます。夏には涼しい所、そして冬には暖かい所で過ごしたいと思っ

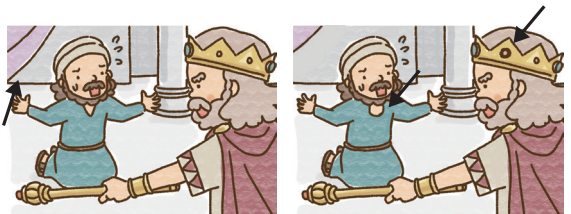
ています。さて、日本ほど四季がはっきりしていないユダヤでも暑さ寒さがあり、私たちと同様に考えていたようで、王たちは実際に過ごしやすい場所に別荘を持っていました。旧約聖書ではそれらしきものは「象牙の家」(列王記上 22:39)をもっていたアハブ王くらいですが、新約の時代で登場したヘロデ大王、そしてヘロデ家は別荘をもっていたことがはっきりしています。これはローマ皇帝の影響だったと考えられます。

ヘロデ大王は、政治の中心だったエルサレム王宮(首相官邸)以外に、エルサレムの南にはヘロディオンと呼ばれる離宮を作っていました。これは万が一、エルサレムが陥落した場合に要塞となるものです。マサダ要塞も同様です。砂漠にあります。そこには豪華な浴場や貯水池も用意され、非常時の避難地になっていました。エリコにあったのが「冬の宮殿」です。冬でも温暖の地で、そこには水路や浴場もついてリゾート感覚でした。カエサリアにも別邸があり、海風があつて涼しい「夏の滞在地」となっていました。

ななめ聖書 先週のこたえ

か	ゆ	ん	い	な	き	る	べ	す
な	い	る	か	す	べ	き	ゆ	ん
す	き	べ	ん	る	ゆ	い	な	か
ん	か	い	な	ゆ	る	す	き	べ
る	す	ゆ	べ	き	い	か	ん	な
き	べ	な	す	か	ん	ゆ	る	い
い	る	す	き	ん	な	べ	か	ゆ
ゆ	な	か	る	べ	す	ん	い	き
べ	ん	き	ゆ	い	か	な	す	る

- ①ごうもんがかり
- ②きょうだい
- ③しゃっきん
- ④ちょうけし



カイサリアでの滞在

私たちは、ティルスから航海を続けてプトレマ
イスに着き、きょうだいたちに挨拶して、彼らの
ところに一日滞在した。
翌日そこをたってカイサリアに赴き、例の七人
の一人である福音宣教者フィリポの家に行き、そ
こに泊まった。この人には預言をする四人の未婚
の娘がいた。
幾日か滞在していたとき、ユダヤからアガボと
言う預言者が下って来た。そして、私たちのと
ころに来て、パウロの帯を取り、それで自分の手足
を縛って言った。「聖霊がこうお告げになってい
る。『エルサレムでユダヤ人は、この帯の持ち主
をこのように縛って異邦人の手に引き渡す。』」
私たちはこれを聞き、土地の人と一緒にあって、
エルサレムへは上らないようにと、パウロにしき
りに頼んだ。」(使徒言行録21:7~12)



【例の七人の紹介】
使徒たちが「祈りと御言葉に専念する」た
めに、7人の「霊と知恵に満ちた評判の良い七
人」、ステファノ、フィリポ、プロコロ、ニカ
ノル、ティモン、パルメナ、ニコラオが選ば
れました(使徒6章)。使徒を支え、信徒に仕
え、教会として成長させていく礎を築いた7
人は、どのような人たちだったのでしょうか。
まず注目したいのは、全員がギリシア名で
あることです。つまり、「ギリシア語を話すユ
ダヤ人」、これはユダヤ以外の場所に離散し
、寄留していたディアスポラと言われている
人たちで、パウロもその一人です。その人た
ちと「ヘブライ語を話すユダヤ人」、もと
からユダヤに住んでいた人と考えられます
が、この両者が対立したことから、この話
が持ち上がりました。その時に、7人が
ギリシア語を話すユダヤ人側から選ばれた
可能性が高いということです。使徒たちは大
胆な人事をしたわけです。
彼らの任務は「日々の配給」だったのだ
けですが、いやいや、彼らはすばらしい宣
教をしています。信徒でありながら、宣
教拡大の担い手となっているわけ
です。簡単に彼らの紹介をしておきま
す。
①ステファノ
彼の活躍は使徒言行録にしっかりと書か
れています。最高法院に連れて行かれた
ステファノは、大祭司はじめ当時のユ
ダヤの最高権威である議員たちを前
にして、大説教をしています(使徒7
章)。内容は、旧約聖書の歴史に基
づいて、神は、外国においても御
言葉を与え、神の祝福を与えてきた
のだから、ユダヤ人だけの神では
ないというものです。これは外国
人を獣以下としていたユダヤ人

にとって、許しがたい冒涇です。ですから、その
場で石打ちの刑が執行され、殉教します。しか
し、市進とがこれだけの聖書知識をもち、聖書
解釈ができ、どうどうと議会で説教できたこ
とは驚きです。この姿を見ていたのがパウロ
です。ですから、このステファノの死が転機
となり、一気に海外宣教が進んでいったと
言えるでしょう。
②フィリポ
この時、「福音宣教者」と紹介されてい
るフィリポも、任命当時信徒であったことは
間違いありません。ただ、天使に導かれて
エチオピアの高官と会い、見事な個人伝道
をして、その場で洗礼を授けています(使
徒8:26~)。主の霊がフィリポを連れ去
ってアソトに現れたなど、特別な力が注
がれていたことは確かです。その後、カイ
サリアに住み、娘4人も預言者になってい
たことがわかります。
③プロコロ
聖書本文にはその後出てきません。伝承
ですが、使徒ヨハネの協力者であったの
ではないかととされています。
④ニカノル
プロコロ同様、彼の活動はわかりませ
んが、殉教したとの伝承が残っています。
⑤ティモン
伝承でシリア地方で奉仕したとされてい
ます。
⑥パルメナ
伝承ではマケドニア方面で活動したと
されています。
⑦ニコラオ
唯一の外国出身者(アンティオキアの改
宗者)でした。詳細は不明です。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかられた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日の後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

